

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年9月5日
【事業年度】	第46期（自平成25年1月1日至平成25年12月31日）
【会社名】	株式会社小僧寿し
【英訳名】	Kozosushi Co.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 真吾
【本店の所在の場所】	東京都中央区築地三丁目9番9号
【電話番号】	03 - 6226 - 4400（大代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 片野 裕之
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区築地三丁目9番9号
【電話番号】	03 - 6226 - 4400（大代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 片野 裕之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年3月31日に提出いたしました第46期（自平成25年1月1日至平成25年12月31日）の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移
  - (1) 連結経営指標等
  - (2) 提出会社の経営指標等
- 4 関係会社の状況

#### 第2 事業の状況

- 1 業績等の概要
  - (1) 業績
- 2 生産、受注及び販売の状況
  - (1) 商品仕入実績
  - (3) 販売実績
- 7 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析
  - (3) 経営成績の分析

#### 第5 経理の状況

- 1 連結財務諸表等
  - (1) 連結財務諸表
    - 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
    - 連結損益計算書
    - 注記事項
      - (セグメント情報等)
      - セグメント情報
  - (2) その他
    - 当連結会計年度における四半期情報等
- 2 財務諸表等
  - (1) 財務諸表
    - 損益計算書
  - (2) 主な資産及び負債の内容
    - 流動資産の部
      - 2) 売掛金
        - (イ) 相手先別内訳

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等  
(訂正前)

回次	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
決算年月	平成21年12月	平成22年12月	平成23年12月	平成24年12月	平成25年12月
売上高 (千円)	24,648,026	22,354,644	20,447,319	20,199,562	15,593,802
経常損益 ( " )	355,934	314,909	91,210	611,767	632,225
当期純損益 ( " )	60,170	766,186	907,603	878,113	1,684,151
包括利益 ( " )	-	-	920,205	876,597	1,684,151
純資産額 ( " )	4,065,903	3,299,687	2,379,311	1,864,353	1,019,416
総資産額 ( " )	8,965,526	7,443,173	6,416,740	7,352,802	4,237,642
1株当たり純資産額 (円)	312.42	253.31	183.24	131.60	57.02
1株当たり当期純損益金額 ( " )	4.64	59.14	70.07	65.73	108.80
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 ( " )	-	-	-	-	-
自己資本比率 ( % )	45.1	44.1	37.0	25.2	23.9
自己資本利益率 ( " )	1.5	20.9	32.1	41.5	117.4
株価収益率 (倍)	38.1	1.7	2.1	3.9	2.3
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	235,048	830,241	407,771	374,762	2,011,845
投資活動によるキャッシュ・フロー ( " )	1,094,436	46,646	61,235	1,009,131	602,030
財務活動によるキャッシュ・フロー ( " )	549,825	135,300	145,823	1,105,779	412,727
現金及び現金同等物の期末残高 ( " )	3,724,199	2,805,304	2,312,944	2,034,830	1,037,743
従業員数 [外、平均臨時雇用者数] (人)	426 [2,873]	408 [2,731]	378 [2,364]	411 [2,251]	93 [1,597]

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 経常損益、当期純損益及び1株当たり当期純損益金額の は、損失であります。

3. 第42期から第44期については、潜在株式が存在しないために、また第45期及び第46期については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるために、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を記載しておりません。

(訂正後)

回次	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
決算年月	平成21年12月	平成22年12月	平成23年12月	平成24年12月	平成25年12月
売上高 (千円)	24,648,026	22,354,644	20,447,319	20,199,562	15,694,555
経常損益 ( " )	355,934	314,909	91,210	611,767	632,225
当期純損益 ( " )	60,170	766,186	907,603	878,113	1,684,151
包括利益 ( " )	-	-	920,205	876,597	1,684,151
純資産額 ( " )	4,065,903	3,299,687	2,379,311	1,864,353	1,019,416
総資産額 ( " )	8,965,526	7,443,173	6,416,740	7,352,802	4,237,642
1株当たり純資産額 (円)	312.42	253.31	183.24	131.60	57.02
1株当たり当期純損益金額 ( " )	4.64	59.14	70.07	65.73	108.80
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 ( " )	-	-	-	-	-
自己資本比率 ( % )	45.1	44.1	37.0	25.2	23.9
自己資本利益率 ( " )	1.5	20.9	32.1	41.5	117.4
株価収益率 (倍)	38.1	1.7	2.1	3.9	2.3
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	235,048	830,241	407,771	374,762	2,011,845
投資活動によるキャッシュ・フロー ( " )	1,094,436	46,646	61,235	1,009,131	602,030
財務活動によるキャッシュ・フロー ( " )	549,825	135,300	145,823	1,105,779	412,727
現金及び現金同等物の期末残高 ( " )	3,724,199	2,805,304	2,312,944	2,034,830	1,037,743
従業員数 [外、平均臨時雇用者数] (人)	426 [2,873]	408 [2,731]	378 [2,364]	411 [2,251]	93 [1,597]

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 経常損益、当期純損益及び1株当たり当期純損益金額の は、損失であります。

3. 第42期から第44期については、潜在株式が存在しないために、また第45期及び第46期については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるために、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を記載しておりません。

(2) 提出会社の経営指標等  
(訂正前)

回次	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
決算年月	平成21年12月	平成22年12月	平成23年12月	平成24年12月	平成25年12月
売上高 (千円)	19,947,365	17,882,558	16,132,383	15,516,880	13,166,164
経常損益 ( " )	195,804	377,508	133,151	651,213	1,056,467
当期純損益 ( " )	61,900	776,807	844,608	860,954	1,682,271
資本金 ( " )	1,458,500	1,458,500	1,458,500	1,598,501	2,019,307
発行済株式総数 (株)	13,188,884	13,188,884	13,188,884	14,109,939	17,753,838
純資産額 (千円)	4,065,802	3,288,621	2,443,842	1,952,069	1,109,012
総資産額 ( " )	8,080,252	6,527,741	5,554,982	6,323,381	4,037,813
1株当たり純資産額 (円)	313.82	253.89	188.69	137.82	62.06
1株当たり配当額 (うち1株当たり中間配当額) ( " )	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
1株当たり当期純損益金額 ( " )	4.78	59.96	65.21	64.45	108.68
潜在株式調整後1株 当たり当期純利益金額 ( " )	-	-	-	-	-
自己資本比率 ( % )	50.3	50.4	44.0	30.7	27.3
自己資本利益率 ( " )	1.5	21.1	29.5	39.2	110.5
株価収益率 (倍)	37.0	1.7	2.2	4.0	2.3
配当性向 ( % )	-	-	-	-	-
従業員数 [外、平均臨時雇用者数] (人)	230 [2,459]	215 [2,346]	192 [1,954]	169 [1,742]	47 [1,107]

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 経常損益、当期純損益及び1株当たり当期純損益金額の は、損失であります。

3. 第42期から第44期については、潜在株式が存在しないために、また第45期及び第46期については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるために、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を記載しておりません。

(訂正後)

回次	第42期	第43期	第44期	第45期	第46期
決算年月	平成21年12月	平成22年12月	平成23年12月	平成24年12月	平成25年12月
売上高 (千円)	19,947,365	17,882,558	16,132,383	15,516,880	13,470,121
経常損益 ( " )	195,804	377,508	133,151	651,213	1,056,467
当期純損益 ( " )	61,900	776,807	844,608	860,954	1,682,271
資本金 ( " )	1,458,500	1,458,500	1,458,500	1,598,501	2,019,307
発行済株式総数 (株)	13,188,884	13,188,884	13,188,884	14,109,939	17,753,838
純資産額 (千円)	4,065,802	3,288,621	2,443,842	1,952,069	1,109,012
総資産額 ( " )	8,080,252	6,527,741	5,554,982	6,323,381	4,037,813
1株当たり純資産額 (円)	313.82	253.89	188.69	137.82	62.06
1株当たり配当額 (うち1株当たり中間配当額) ( " )	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
1株当たり当期純損益金額 ( " )	4.78	59.96	65.21	64.45	108.68
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 ( " )	-	-	-	-	-
自己資本比率 ( % )	50.3	50.4	44.0	30.7	27.3
自己資本利益率 ( " )	1.5	21.1	29.5	39.2	110.5
株価収益率 (倍)	37.0	1.7	2.2	4.0	2.3
配当性向 ( % )	-	-	-	-	-
従業員数 [外、平均臨時雇用者数] (人)	230 [2,459]	215 [2,346]	192 [1,954]	169 [1,742]	47 [1,107]

(注) 1. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 経常損益、当期純損益及び1株当たり当期純損益金額の は、損失であります。

3. 第42期から第44期については、潜在株式が存在しないために、また第45期及び第46期については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失金額であるために、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を記載しておりません。

#### 4【関係会社の状況】

(訂正前)

名称	住所	資本金 (千円)	主要な事業の 内容	議決権の所有 (被所有) 割合(%)	関係内容
(子会社) ㈱茶月東日本 (注)1	東京都中央区	10,000	持ち帰り寿し 事業等及び寿 しFC事業	100.0	当社より原材料の購入及び 資金援助を受けている。 (役員の兼任4名)
㈱東京小僧寿し	東京都中央区	10,000	持ち帰り寿し 事業等	100.0	当社より原材料を購入して いる。 (役員の兼任3名)

(注)1. 上記会社は特定子会社に該当しております。

2. 子会社の「主要な事業の内容」欄には、報告セグメントの名称を記載しております。

3. ㈱茶月東日本については、売上高(連結会社相互間の内部売上を除く)の連結売上高に占める割合が10%を超えております。

主要な損益情報等	(1) 売上高	2,801,120千円
	(2) 経常損失	100,071
	(3) 当期純損失	598,310
	(4) 純資産額	610,983
	(5) 総資産額	632,248

4. ㈱東京小僧寿し、売上高(連結会社相互間の内部売上を除く)の連結売上高に占める割合が10%を超えております。

主要な損益情報等	(1) 売上高	2,117,460千円
	(2) 経常損失	86,911
	(3) 当期純損失	88,776
	(4) 純資産額	78,776
	(5) 総資産額	383,203

5. 平成25年3月18日付けで㈱札幌海鮮丸の全株式を売却いたしました。

6. 上記以外にその他の関係会社が1社ありますが、事業に及ぼす影響度が僅少であり、かつ全体としても重要性がないため、記載を省略しております。

(訂正後)

名称	住所	資本金 (千円)	主要な事業の 内容	議決権の所有 (被所有) 割合(%)	関係内容
(子会社) ㈱茶月東日本 (注)1	東京都中央区	10,000	持ち帰り寿し 事業等及び寿し FC事業	100.0	当社より原材料の購入及び 資金援助を受けている。 (役員の兼任4名)
㈱東京小僧寿し	東京都中央区	10,000	持ち帰り寿し 事業等	100.0	当社より原材料を購入して いる。 (役員の兼任3名)

(注)1. 上記子会社は特定子会社に該当しております。

2. 子会社の「主要な事業の内容」欄には、報告セグメントの名称を記載しております。

3. ㈱茶月東日本については、売上高(連結会社相互間の内部売上を除く)の連結売上高に占める割合が10%を超えております。

主要な損益情報等	(1) 売上高	2,815,392千円
	(2) 経常損失	100,071
	(3) 当期純損失	598,310
	(4) 純資産額	610,983
	(5) 総資産額	632,248

4. ㈱東京小僧寿し、売上高(連結会社相互間の内部売上を除く)の連結売上高に占める割合が10%を超えております。

主要な損益情報等	(1) 売上高	2,117,460千円
	(2) 経常損失	86,911
	(3) 当期純損失	88,776
	(4) 純資産額	78,776
	(5) 総資産額	383,203

5. 平成25年3月18日付けで㈱札幌海鮮丸の全株式を売却いたしました。



## 第2【事業の状況】

### 1【業績等の概要】

#### (1)業績

(訂正前)

##### 業績

当連結会計年度における我が国経済は、新政権の経済政策や日銀の金融政策による株高、円安が進行したことにより景気回復の兆しが見られる一方、個人消費は物価上昇への懸念から動きが鈍く、未だ先行きは不透明な状態であり

ます。外食産業におきましては、相次ぐ原材料価格の高騰や低下した消費マインドの中で、割引戦略による他社との消耗戦の継続を強いられ、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは個々の店舗とその地域のお客様とをより緊密に結びつけ利用頻度を上げることを目的として、個店単位でのマネジメントの充実化を図る試みを開始いたしました。本来店舗毎に違う顧客の求めている商品、サービスに対し、イベントやメニュー追加、携帯メールでの情報発信、割引クーポンの配布等でフレキシブルな対応をしております。併せて既存店舗の宅配機能の付加も開始し平成25年度には14店舗に宅配システムを導入し、順調にご利用者数を伸ばしております。今後も潜在顧客の発掘、商圏の拡大を目的として、順次宅配対応店舗を増やしてまいります。

また、新規出店計画に基づき、大型商業施設や駅前立地への実験店の出店による新たな商圏開発を行ったほか、フランチャイズ化を推進すべく社員独立制度を開始し25店舗が直営店舗からF C店舗として営業を開始いたしました。なお、7月からは直営店舗の営業権譲渡により9店舗がF C店舗として運営を開始しております。

なお、第1四半期連結会計期間において、寿し宅配事業における株式会社札幌海鮮丸の当社が保有する全株式を売却し、株式会社札幌海鮮丸は連結対象から除外されました。また第3四半期連結会計期間末をもって、回転寿し事業の「活鮮」業態を事業譲渡しております。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は平成24年10月に連結対象となった株式会社茶月東日本の売上高が加わったものの、直営店舗の営業権譲渡によるF C化が当初の計画を下回ったこと、直営店舗の既存店売上前年比が96.3%となったことや株式会社札幌海鮮丸並びに回転寿し事業の売却や社員独立制度による直営店舗の加盟者への転換等により、売上高は155億93百万円（前年同期比22.8%減）となりました。営業損益及び経常損益につきましては、在庫およびロス管理の徹底と人件費削減等に努めてまいりましたが、一方で商材価格の高騰もあり、営業損失は6億14百万円（前年同期は6億44百万円の営業損失）、経常損失は6億32百万円（前年同期は6億11百万円の経常損失）となりました。また、当期純損失につきましては、営業損失の理由に加え回転寿し事業の譲渡益、株式会社札幌海鮮丸の売却等による特別利益4億70百万円、減損損失及び早期割増退職金等による特別損失として14億56百万円の発生により当期純損失は16億84百万円（前年同期は8億78百万円の当期純損失）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

##### セグメント別状況

##### イ) 持ち帰り寿し事業等

持ち帰り寿し事業等におきましては、持ち帰り寿し業態として「小僧寿し」「鉢巻太助」「茶月」及び「神田一番寿司」、立喰い寿し「築地鉢巻太助」を展開しております。

小僧寿し業態では、10月には、映画「おしん」とタイアップした「おしん寿し」を限定販売し通常のちらし寿しとは違った商品性と合わせ話題を集めました。また、回転寿しとの差別化商品として「まかない丼」を投入しご好評を得ております。11月は人気のネタがたっぷり楽しめる「キングたっぷりフェア」「メガたっぷりフェア」を開催し小僧寿しならではの商品価値をお客様に訴求いたしました。12月は「ハローキティ」をイメージキャラクターに「クリスマスフェア」等を実施いたしましたほか、おせちは「京風」「海鮮」「和洋中」「桂」「嵐山」の5種類をご用意。インターネット販売も拡大し大変ご好評をいただきました。これら商品企画を投入したほか、平成24年10月に連結対象となった株式会社茶月東日本の売上高が加わりましたが、不採算店舗55店舗の閉鎖等の影響により、売上高は123億66百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

##### ロ) 寿しF C事業

寿しF C事業におきましては、小僧寿しフランチャイズチェーン加盟者への経営指導と食材の提供を主たる事業としております。社員独立制度により直営店舗からF C店舗として25店舗が転換し、直営店舗の営業権譲渡により9店舗がF C店舗として転換しております。また、茶月業態のF C店舗への食材売上高が加わったこと等により、寿しF C事業の売上高は32億27百万円（前年同期比36.5%増）となっております。

(訂正後)

## 業績

当連結会計年度における我が国経済は、新政権の経済政策や日銀の金融政策による株高、円安が進行したことにより景気回復の兆しが見られる一方、個人消費は物価上昇への懸念から動きが鈍く、未だ先行きは不透明な状態であります。

外食産業におきましては、相次ぐ原材料価格の高騰や低下した消費マインドの中で、割引戦略による他社との消耗戦の継続を強いられ、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは個々の店舗とその地域のお客様とをより緊密に結びつけ利用頻度を上げることを目的として、個店単位でのマネジメントの充実化を図る試みを開始いたしました。本来店舗毎に違う顧客の求めている商品、サービスに対し、イベントやメニュー追加、携帯メールでの情報発信、割引クーポンの配布等でフレキシブルな対応をしております。併せて既存店舗の宅配機能の付加も開始し平成25年度には14店舗に宅配システムを導入し、順調にご利用者数を伸ばしております。今後も潜在顧客の発掘、商圈の拡大を目的として、順次宅配対応店舗を増やしてまいります。

また、新規出店計画に基づき、大型商業施設や駅前立地への実験店の出店による新たな商圈開発を行ったほか、フランチャイズ化を推進すべく社員独立制度を開始し25店舗が直営店舗からF C店舗として営業を開始いたしました。なお、7月からは直営店舗の営業権譲渡により9店舗がF C店舗として運営を開始しております。

なお、第1四半期連結会計期間において、寿し宅配事業における株式会社札幌海鮮丸の当社が保有する全株式を売却し、株式会社札幌海鮮丸は連結対象から除外されました。また第3四半期連結会計期間末をもって、回転寿し事業の「活鮮」業態を事業譲渡しております。

以上の結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高は平成24年10月に連結対象となった株式会社茶月東日本の売上高が加わったものの、直営店舗の営業権譲渡によるF C化が当初の計画を下回ったこと、直営店舗の既存店売上前年比が96.3%となったことや株式会社札幌海鮮丸並びに回転寿し事業の売却や社員独立制度による直営店舗の加盟者への転換等により、売上高は156億94百万円（前年同期比22.3%減）となりました。営業損益及び経常損益につきましては、在庫およびロス管理の徹底と人件費削減等に努めてまいりましたが、一方で商材価格の高騰もあり、営業損失は6億14百万円（前年同期は6億44百万円の営業損失）、経常損失は6億32百万円（前年同期は6億11百万円の経常損失）となりました。また、当期純損失につきましては、営業損失の理由に加え回転寿し事業の譲渡益、株式会社札幌海鮮丸の売却等による特別利益4億70百万円、減損損失及び早期割増退職金等による特別損失として14億56百万円の発生により当期純損失は16億84百万円（前年同期は8億78百万円の当期純損失）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

### セグメント別状況

#### イ) 持ち帰り寿し事業等

持ち帰り寿し事業等におきましては、持ち帰り寿し業態として「小僧寿し」「鉢巻太助」「茶月」及び「神田一番寿司」、立喰い寿し「築地鉢巻太助」を展開しております。

小僧寿し業態では、10月には、映画「おしん」とタイアップした「おしん寿し」を限定販売し通常のちらし寿しとは違った商品性と合わせ話題を集めました。また、回転寿しとの差別化商品として「まかない丼」を投入しご好評を得ております。11月は人気のネタがたっぷり楽しめる「キングたっぷりフェア」「メガたっぷりフェア」を開催し小僧寿しならではの商品価値をお客様に訴求いたしました。12月は「ハローキティ」をイメージキャラクターに「クリスマスフェア」等を実施いたしましたほか、おせちは「京風」「海鮮」「和洋中」「桂」「嵐山」の5種類をご用意。インターネット販売も拡大し大変ご好評をいただきました。これら商品企画を投入したほか、平成24年10月に連結対象となった株式会社茶月東日本の売上高が加わりましたが、不採算店舗55店舗の閉鎖等の影響により、売上高は123億66百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

#### ロ) 寿しF C事業

寿しF C事業におきましては、小僧寿しフランチャイズチェーン加盟者への経営指導と食材の提供を主たる事業としております。社員独立制度により直営店舗からF C店舗として25店舗が転換し、直営店舗の営業権譲渡により9店舗がF C店舗として転換しております。また、茶月業態のF C店舗への食材売上高が加わったこと等により、寿しF C事業の売上高は33億28百万円（前年同期比43.4%増）となっております。

## 2【生産、受注及び販売の状況】

(訂正前)

### (1) 商品仕入実績

当社グループ(当社及び連結子会社、以下同じ)は「生産」を行っておりませんので、「生産実績」に代えて「商品仕入実績」を記載いたします。

当連結会計年度の商品仕入実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称		当連結会計年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)	
		金額(千円)	前年同期比(%)
持ち帰り寿し事業等	持ち帰り寿し	5,052,033	100.8
	回転寿し	480,567	73.4
	小計	5,532,601	97.7
寿しFC事業	食材仕入	2,228,836	118.8

### (2) 受注状況

該当事項はありません。

### (3) 販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称		当連結会計年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)	
		金額(千円)	前年同期比(%)
持ち帰り寿し事業等	商品販売		
	持ち帰り寿し	11,202,505	94.5
	回転寿し	1,163,572	69.1
	小計	12,366,077	91.3
寿しFC事業	食材販売	2,910,055	137.7
	ロイヤリティ収入等	317,670	152.1
	小計	3,227,725	139.0
合計		15,593,802	98.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(訂正後)

(1) 商品仕入実績

当社グループ(当社及び連結子会社、以下同じ)は「生産」を行っておりませんので、「生産実績」に代えて「商品仕入実績」を記載いたします。

当連結会計年度の商品仕入実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称		当連結会計年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)	
		金額(千円)	前年同期比(%)
持ち帰り寿し事業等	持ち帰り寿し	5,052,033	100.8
	回転寿し	480,567	73.4
	小計	5,532,601	97.7
寿しF C事業	食材仕入	2,329,589	124.2

(2) 受注状況

該当事項はありません。

(3) 販売実績

当連結会計年度の販売実績をセグメントごとに示すと次のとおりであります。

セグメントの名称		当連結会計年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)	
		金額(千円)	前年同期比(%)
持ち帰り寿し事業等	商品販売		
	持ち帰り寿し	11,202,505	94.5
	回転寿し	1,163,572	69.1
	小計	12,366,077	91.3
寿しF C事業	食材販売	3,010,808	142.4
	ロイヤリティ収入等	317,670	152.1
	小計	3,328,478	143.4
合計		15,694,555	77.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 7【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (3) 経営成績の分析

#### (訂正前)

##### 売上高の状況

当連結会計年度における売上高は155億93百万円（前期比46億5百万円減）となりました。これは主に直営店の既存店売上前年比が96.6%となったことに起因しております。

##### 売上総利益の状況

当連結会計年度における売上総利益は79億67百万円（前期比31億57百万円減）となりました。これは主に売上高の減少及び米価の高騰等による仕入高の増加に起因しております。

##### 営業損益の状況

当連結会計年度における営業損失は6億14百万円（前期は6億44百万円の営業損失）となりました。これは売上総利益の状況に加え、広告宣伝費及び販売促進費の増加に起因しております。

##### 経常損益の状況

当連結会計年度における経常損失は6億32百万円（前期は6億11百万円の経常損失）となりました。これは主に営業損益の状況に起因しております。

##### 当期純損益の状況

当連結会計年度における当期純損失は16億84百万円（前期は8億78百万円の当期純損失）となりました。これは主に売上高の減少及び仕入高の増加に減損損失等の特別損失14億56百万円があったことに起因しております。

#### (訂正後)

##### 売上高の状況

当連結会計年度における売上高は156億94百万円（前期比45億5百万円減）となりました。これは主に直営店の既存店売上前年比が96.6%となったことに起因しております。

##### 売上総利益の状況

当連結会計年度における売上総利益は80億19百万円（前期比31億5百万円減）となりました。これは主に売上高の減少及び米価の高騰等による仕入高の増加に起因しております。

##### 営業損益の状況

当連結会計年度における営業損失は6億14百万円（前期は6億44百万円の営業損失）となりました。これは売上総利益の状況に加え、広告宣伝費及び販売促進費の増加に起因しております。

##### 経常損益の状況

当連結会計年度における経常損失は6億32百万円（前期は6億11百万円の経常損失）となりました。これは主に営業損益の状況に起因しております。

##### 当期純損益の状況

当連結会計年度における当期純損失は16億84百万円（前期は8億78百万円の当期純損失）となりました。これは主に売上高の減少及び仕入高の増加に減損損失等の特別損失14億56百万円があったことに起因しております。

## 第5【経理の状況】

## 1【連結財務諸表等】

## (1)【連結財務諸表】

## 【連結損益計算書及び連結包括利益計算書】

## 【連結損益計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	20,199,562	15,593,802
売上原価	9,075,023	7,626,481
売上総利益	11,124,538	7,967,321
販売費及び一般管理費	1 11,769,256	1 8,582,090
営業損失( )	644,718	614,768
営業外収益		
受取利息	4,374	2,170
受取配当金	753	5,615
受取賃貸料	97,078	179,544
その他	52,076	31,459
営業外収益合計	154,284	218,789
営業外費用		
支払利息	5,098	17,029
賃貸資産関連費用	92,447	184,073
資金調達費用	-	22,618
その他	23,787	12,525
営業外費用合計	121,333	236,246
経常損失( )	611,767	632,225
特別利益		
固定資産売却益	-	2 20,132
関係会社株式売却益	-	290,874
受取補償金	8,875	-
賃貸借契約解約補償金	8,802	-
事業譲渡益	-	152,044
その他	-	7,620
特別利益合計	17,678	470,671
特別損失		
固定資産売却損	3 1,478	-
固定資産除却損	4 25,481	4 64,301
減損損失	5 109,771	5 1,166,439
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	20,800	9,960
早期割増退職金	-	208,089
その他	12,000	7,981
特別損失合計	169,531	1,456,772
税金等調整前当期純損失( )	763,620	1,618,327
法人税、住民税及び事業税	108,108	65,824
法人税等調整額	4,867	-
法人税等合計	112,976	65,824
少数株主損益調整前当期純損失( )	876,597	1,684,151
少数株主利益	1,515	-
当期純損失( )	878,113	1,684,151

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日)	当連結会計年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	20,199,562	15,694,555
売上原価	9,075,023	7,675,058
売上総利益	11,124,538	8,019,498
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 11,769,256	<sup>1</sup> 8,634,266
営業損失( )	644,718	614,768
営業外収益		
受取利息	4,374	2,170
受取配当金	753	5,615
受取賃貸料	97,078	179,544
その他	52,076	31,459
営業外収益合計	154,284	218,789
営業外費用		
支払利息	5,098	17,029
賃貸資産関連費用	92,447	184,073
資金調達費用	-	22,618
その他	23,787	12,525
営業外費用合計	121,333	236,246
経常損失( )	611,767	632,225
特別利益		
固定資産売却益	-	<sup>2</sup> 20,132
関係会社株式売却益	-	290,874
受取補償金	8,875	-
賃貸借契約解約補償金	8,802	-
事業譲渡益	-	152,044
その他	-	7,620
特別利益合計	17,678	470,671
特別損失		
固定資産売却損	<sup>3</sup> 1,478	-
固定資産除却損	<sup>4</sup> 25,481	<sup>4</sup> 64,301
減損損失	<sup>5</sup> 109,771	<sup>5</sup> 1,166,439
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	20,800	9,960
早期割増退職金	-	208,089
その他	12,000	7,981
特別損失合計	169,531	1,456,772
税金等調整前当期純損失( )	763,620	1,618,327
法人税、住民税及び事業税	108,108	65,824
法人税等調整額	4,867	-
法人税等合計	112,976	65,824
少数株主損益調整前当期純損失( )	876,597	1,684,151
少数株主利益	1,515	-
当期純損失( )	878,113	1,684,151

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

当連結会計年度(自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しFC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,366,077	3,227,725	15,593,802	-	15,593,802
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	12,366,077	3,227,725	15,593,802	-	15,593,802
セグメント利益又は損失( )	171,751	168,395	3,355	611,412	614,768
その他の項目					
減価償却費	102,780	7,994	110,775	16,119	126,894

(注)1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用 611,412千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

3. セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはなっていないため記載しておりません。

(訂正後)

当連結会計年度(自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	持ち帰り寿し 事業等	寿しFC事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,366,077	3,328,478	15,694,555	-	15,694,555
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	12,366,077	3,328,478	15,694,555	-	15,694,555
セグメント利益又は損失( )	171,751	168,395	3,355	611,412	614,768
その他の項目					
減価償却費	102,780	7,994	110,775	16,119	126,894

(注)1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用 611,412千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の本社管理部門の配賦不能営業費用であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

3. セグメント資産及び負債については、経営資源の配分の決定及び業績を評価するための検討対象とはなっていないため記載しておりません。



(2)【その他】

当連結会計年度における四半期情報等

(訂正前)

(累計期間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	当連結会計年度
売上高(千円)	4,198,768	7,977,429	11,808,708	15,593,802
税金等調整前四半期(当期) 純損失金額( )(千円)	13,391	332,417	738,954	1,618,327
四半期(当期)純損失金額 ( )(千円)	37,263	380,155	810,562	1,684,151
1株当たり四半期(当期)純 損失金額( )(円)	2.64	25.88	53.60	108.80

(会計期間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
1株当たり四半期純損失金額 ( )(円)	2.64	22.67	26.67	52.82

(訂正後)

(累計期間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	当連結会計年度
売上高(千円)	4,198,768	7,977,429	11,808,708	15,694,555
税金等調整前四半期(当期) 純損失金額( )(千円)	13,391	332,417	738,954	1,618,327
四半期(当期)純損失金額 ( )(千円)	37,263	380,155	810,562	1,684,151
1株当たり四半期(当期)純 損失金額( )(円)	2.64	25.88	53.60	108.80

(会計期間)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
1株当たり四半期純損失金額 ( )(円)	2.64	22.67	26.67	52.82

## 2【財務諸表等】

## (1)【財務諸表】

## 【損益計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日)	当事業年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)
売上高		
商品売上高	15,317,036	12,859,769
ロイヤリティ収入	199,844	306,394
売上高合計	15,516,880	13,166,164
売上原価		
商品期首たな卸高	503,384	540,566
当期商品仕入高	7,538,661	7,814,133
合計	8,042,046	8,354,699
商品期末たな卸高	540,566	637,070
商品売上原価	7,501,480	7,717,629
売上総利益	8,015,400	5,448,535
販売費及び一般管理費	2 8,698,543	2 5,887,000
営業損失( )	683,143	438,465
営業外収益		
受取利息	1 7,976	1 18,164
受取配当金	753	5,615
受取賃貸料	73,081	101,881
業務受託料	12,952	-
その他	31,917	23,103
営業外収益合計	126,681	148,764
営業外費用		
支払利息	4,751	17,029
賃貸資産関連費用	68,198	105,089
貸倒引当金繰入額	-	610,983
その他	21,802	33,664
営業外費用合計	94,752	766,766
経常損失( )	651,213	1,056,467
特別利益		
固定資産売却益	-	3 20,132
関係会社株式売却益	-	226,892
賃貸借契約解約補償金	8,802	-
事業譲渡益	-	152,044
その他	-	7,620
特別利益合計	8,802	406,689
特別損失		
関係会社株式評価損	-	10,000
固定資産売却損	4 1,478	-
固定資産除却損	5 24,444	5 58,319
減損損失	6 72,304	6 709,849
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	20,800	9,960
早期割増退職金	-	177,838
その他	12,000	4,889
特別損失合計	131,027	970,856
税引前当期純損失( )	773,438	1,620,634
法人税、住民税及び事業税	87,515	61,637
法人税等合計	87,515	61,637
当期純損失( )	860,954	1,682,271

(訂正後)

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成24年1月1日 至 平成24年12月31日)	当事業年度 (自 平成25年1月1日 至 平成25年12月31日)
<b>売上高</b>		
商品売上高	15,317,036	13,163,726
ロイヤリティ収入	199,844	306,394
売上高合計	15,516,880	13,470,121
<b>売上原価</b>		
商品期首たな卸高	503,384	540,566
当期商品仕入高	7,538,661	8,118,090
合計	8,042,046	8,658,656
商品期末たな卸高	540,566	637,070
商品売上原価	7,501,480	8,021,585
<b>売上総利益</b>	8,015,400	5,448,535
販売費及び一般管理費	2 8,698,543	2 5,887,000
<b>営業損失( )</b>	683,143	438,465
<b>営業外収益</b>		
受取利息	1 7,976	1 18,164
受取配当金	753	5,615
受取賃貸料	73,081	101,881
業務受託料	12,952	-
その他	31,917	23,103
営業外収益合計	126,681	148,764
<b>営業外費用</b>		
支払利息	4,751	17,029
賃貸資産関連費用	68,198	105,089
貸倒引当金繰入額	-	610,983
その他	21,802	33,664
営業外費用合計	94,752	766,766
<b>経常損失( )</b>	651,213	1,056,467
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	-	3 20,132
関係会社株式売却益	-	226,892
賃貸借契約解約補償金	8,802	-
事業譲渡益	-	152,044
その他	-	7,620
特別利益合計	8,802	406,689
<b>特別損失</b>		
関係会社株式評価損	-	10,000
固定資産売却損	4 1,478	-
固定資産除却損	5 24,444	5 58,319
減損損失	6 72,304	6 709,849
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	20,800	9,960
早期割増退職金	-	177,838
その他	12,000	4,889
特別損失合計	131,027	970,856
<b>税引前当期純損失( )</b>	773,438	1,620,634
法人税、住民税及び事業税	87,515	61,637
法人税等合計	87,515	61,637
<b>当期純損失( )</b>	860,954	1,682,271

( 2 ) 【主な資産及び負債の内容】

流動資産の部

2) 売掛金

(イ) 相手先別内訳

(訂正前)

相手先	金額(千円)
株式会社小僧寿し山陽グループ	67,702
株式会社YCP Retailing	60,450
株式会社札幌海鮮丸	40,916
ヤマトフィナンシャル株式会社	39,755
株式会社サニーフーズ	<u>24,732</u>
その他	<u>550,832</u>
合計	784,387

(訂正後)

相手先	金額(千円)
株式会社茶月東日本	<u>215,465</u>
株式会社小僧寿し山陽グループ	67,702
株式会社YCP Retailing	60,450
株式会社札幌海鮮丸	40,916
ヤマトフィナンシャル株式会社	39,755
その他	<u>360,099</u>
合計	784,387